

(様式第4号)

第4回武石地域協議会 会議概要

1 審議会名	武石地域協議会
2 日時	平成29年8月23日 午後7時00分から午後9時00分まで
3 会場	武石地域自治センター2階 第1会議室
4 出席者	会長児玉卓文委員、新井徳委員、池内俊郎委員、大草ひろみ委員、柿島 勲委員、木下嘉章委員、児玉けさみ委員、小山ひとみ委員、櫻井久美子委員、高橋みち子委員、橋詰文雄委員、橋詰和夫委員、廣川光子委員、山岸誠委員、依田真澄委員 【欠席委員5名】
5 市側出席者	木藤地域自治センター長、依田地域振興課長、下村市民サービス課長 滝沢産業建設課長、清住武石教育事務所長、金子庶務担当係長 小林地域担当職員、坂部地域政策係長 都市計画課：金井調査計画担当係長、竹下街路公園整備担当係長、甲田調査計画担当主査
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成29年8月24日

協議事項等

全体進行(依田次長)

会議資料の確認及び出欠席委員の確認。

1 開会(柿島副会長)

2 地域協議会長あいさつ(児玉会長)

本日は、移動市長室ということで母袋市長が一日武石地域に来られ、執務をされました。

午前中は、武石地域の総合センター建設に伴って、該当施設の様子を確認されたり、下本入地区で個人が公園を整備している現場を視察していただいたり、里山整備の会といって茂沢川沿いに山桜やしだれ桜を植えたりして環境整備している場所があるのでこれもお覧いただきました。

そのあと、企業の様子ということで須藤物産さんとメクトロンさんを視察されました。

また、午後は、武石地域にUターンやIターンをされ居住されている6組のみなさんと懇談をされ、私もそこへ出席をさせていただき、皆さんのお考えをお聴きすることができました。

さて、今日は、協議事項はございませんが市都市計画課より「上田市立地適正化計画」と「上田市緑の基本計画」についてご報告をいただきます。これからの武石地域にとって大切なお話ですので、しっかりお聞きいただき、もしお分かりにならないことがあればご質問ください。

3 報告事項

(1) 人口減少社会に対応したまちづくりをめざして

～上田市立地適正化計画について～ (都市計画課 金井調査計画担当係長)

上田市における将来推計人口

上田市の人口は2001年の約17万人をピークに減少に転じた。

国は、人口減少社会に向けた今後のまちづくりの根幹に「集約型都市構造」を位置づけ居住に関する立地の適正化を図るため「立地適正化計画」を定めるためH26.8月に都市再生特別措置法を改正しました。

上田市立地適正化計画の概要

上田市立地適正化計画には次の事項を定める

計画区域

立地適正化区域は、都市計画課区域と同一です。

立地適正化に関する基本的な方針

目指すべき都市像とともに、一定の人口密度の維持、生活サービス機能の計画的配置、公共交通の充実のための施策を行う上での基本的な方向性を定める。

居住誘導区域

居住を誘導し、人口密度維持する区域。

土地利用のルールが決められた用途地域に設定する。

都市機能誘導区域

医療、福祉、商業等の都市機能施設を誘導し、まちなかの賑わいを維持する区域。

居住誘導区域の内側に設定。

生活複合拠点

地域の拠点として持続していくことを目的とした、公共施設や生活サービス施設が集積し、地域コミュニティが形成された場所。

立地適正化計画区域の内外に設定します。

児玉会長 只今、御報告をしていただきましたが、何かご質問はございますか。

委員 この計画は、どのくらいのスパンでお考えになられていますか。

都市計画課 この計画は、長い目で考えており30年とか50年…。都市計画という制度自体できてから100年近く経過しておりますが、都市計画というものの考え方が強制的にものを動かすということではなく、市民の皆さんの考え方を誘導していく施策の中で進めていくわけですが、先ほど申し上げましたとおり人口は減っていくのは間違いないが住みよいまちづくりを地道に進めていくことが大切だと考えます。

児玉会長 ありがとうございます。続きまして緑の基本計画についてご報告をお願いいたします。

(2) 上田市緑の基本計画の策定について (都市計画課 竹下街路公園整備担当係長)

緑の基本計画とは。

策定の目的

緑の基本企画は、緑に関する将来の望ましい姿を定め、それを実現するための緑の保全公園の整備、公共施設や民有地の緑化、緑化意識の普及啓発などの施策の方針を定める。

対象範囲

対象範囲は、上田市の都市計画区域が基本となりますが、暮らしに身近な緑を対象にする計画であることから都市計画区域外の真田地域、武石地域についても現況調査や緑の整備、保全に対する基本方針などは本計画で示す予定。

緑の基本計画更新の意義

社会情勢の変化により新たな法制度・制度の改定や公園や都市の緑を取り巻く情勢の変化。新たな課題として、厳しい財政事情と人口減少の傾向がある中で子育て世代の公園ニーズが高い状況からストックを活かす、質を改める等の対策が必要。

基礎調査・計画で定める内容

・緑地の保全及び緑化の目標 ・都市公園の整備・管理の方針その他保全すべき緑地の確保、

・緑地の保全緑化の推進のための施策 ・緑地保全地区と同地区内の緑化保全、・緑地保全
配慮地区と同地区内の緑地保全 ・緑化地域における緑化推進 ・緑化地域以外の区域の緑化
重点地区の推進

計画の果たす役割

- ・合併後の全市統一的な公園緑地行政の指針設定
- ・市民のニーズに応じた効果的な公園の質の改善方策、緑化施策の立案
- ・重点エリアを定めての公園の配置や緑化状況の継続的検証
- ・段丘崖斜面林や市街地背後の山林に関する今後の対処方針の設定
- ・都市に新たな価値を生み出す新たな施策の具体化

児玉会長 只今、御報告をしていただきましたが、何かご質問はございますか。
子育て世代の方々が、子どもが遊べるような優しい水辺があって、芝生があって、遊具がある
広い公園が欲しいというお気持ちは、わかります。特に都市部の街中ではそういうものが求め
られるんでしょう。その他、お聞きになりたいことはございますか。

委 員 なし。

(3) その他 その他事項はなし。

5 その他

(1) 次回以降の会議等日程について

児玉会長 無ければその他事項へ次回の日程についてですが、
今回は9月8日に第3回「わがまち魅力アップ応援事業」の募集が締め切られますので、
もし新しい事業の応募があれば、9月20日(水曜日)午後7時からということでいか
がでしょうか。

委 員 異議なし。

5 閉会(柿島副会長)

それでは、以上で第4回武石地域協議会を閉会といたします。